

看護だより

KANAGAWA

Vol. 182

2018年9月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905
http://www.kana-kango.or.jp/

平成30年度 会員数 35,192人

(平成30年8月1日現在)



▲分娩時、ご家族の立ち合いも可能です



妊婦健診は、超音波で赤ちゃんの様子をご家族と一緒に見ていただけます



産後は母子同室です。授乳指導も授乳のタイミングで一人ひとりに合わせて行っています



フリースタイル分娩で、開院から1000人以上の赤ちゃんが生まれています



▼母親学級では、食事をしながら妊婦さん同士で楽しい時間を過ごしています



【今月の表紙】

かもめ助産院

→施設の紹介は24ページに掲載しています

▲2001年開院、2004年に今の場所に移転。
静かな環境で入院分娩、妊婦健診、母乳相談、産後ケア等行っています

CONTENTS

- ◆健康ひろば
ご存知ですか?「血圧サージ」…2~3
- ◆スペシャリストが行く
「ケアマネジャー(介護支援専門員)」…4
- ◆目からウロコのお役立ち情報
「腸内フローラ」……………5
- ◆特集
「私の施設のユニーク研修」…6~7
- ◆医療安全ワーキンググループが行く
「東京湾フェリーの安全管理について」…8
- ◆平成30年度通常総会開催……………9
- ◆平成30年度役員紹介・委員会名簿…10
- ◆平成29年度事業報告/貸借対照表/正味財産増減計算書/財産目録…11~23
- ◆こんにちは事務局です/
表紙の写真/編集後記……………24



ご存知ですか？「血圧サージ」

～いつも血圧変動が 大きなひとは要注意～



神奈川県立循環器呼吸器病センター
院長補佐兼循環器内科部長 福井 和樹

「血圧サージ」とは

‘血圧サージ’[急に血圧が上昇することで脳卒中になってしまう]こんなイメージを持っている人が多くいると思います。血圧サージと言う言葉は、2017年にNHKスペシャル「血圧サージが危ない」という放送がされてから、一般の人に大きな話題となった言葉です。その後、週刊誌や健康雑誌でも取り上げられ、ますます皆さんが関心をもつようになりました。そもそも英語でサージとは、波のように押し寄せる、急上昇と言った意味で、血圧サージとは、まさに血圧が高波のように急上昇することを意味します。

確かに血圧サージのある人は、脳卒中や心筋梗塞になりやすいという報告があることは事実です。しかし、私たちの血圧は絶えず変動しています。この血圧の上昇がサージなのか、通常の高血圧変動なのかを区別することは難しいことなのです。本来、夜リラックスした状態であれば血圧は低下します。運動やストレスで緊張状態になれば、当然血圧は上昇します。

重量挙げの選手は、重量挙げ中に血圧が300mmHgにも達するといわれています。健康の人でも全速力で走れば、血圧は200mmHgを越えます。サージと通常の高血圧変動を区別する

とすれば、血圧の変化がいつも大きい人は血圧サージがあるといえるかもしれません。1回だけ血圧が高い場合は、あまり血圧サージという言葉は適切でないと思います。短距離選手や重量挙げの選手が、競技中に脳卒中を起こさないように1回の血圧上昇がすぐ危険というわけではありません。いつも、血圧変動の大きい人は注意が必要と理解することが大切だと思います。

なぜ血圧サージがいけないのか

実は血圧上昇の大きな原因は、ストレスです。ストレスが体にかかるストレスホルモンといわれるカテコールアミンや交感神経が刺激され、血圧が上昇するのです。現代社会はストレス社会といわれ、ストレスのない人はほとんどいないと思います。血圧サージのある人は、ストレスがあることが多いのです。私はストレスなんか無いと思っている人は、漠然とした不安というストレスもあります。

本来はそのストレス自体を改善することが重要です。でも、実際には解決できないストレスが多いと思います。その場合は、ストレスと真正面に向き合うのではなく、上手にいなすことや別の発散方法を考えましょう。

ストレスの多くは自分自身が考えて、より増幅させてしまいます。一生懸命になれることを作り、忘れてしまうこともひとつの手です。血圧サージが心配な人は、血圧が上昇していると考えること自体がストレスなのです。あまり血圧の数値に過敏になることは止めましょう。

さらに血圧サージのある人には問題点があります。本来人間の体には、恒常性といって血圧を一定に保とうとするメカニズムがあります。例えば、血管は広がることによって血圧を下げるができます。過度に血圧が上昇するということは、このメカニズムが壊れている、すなわち、血管が動脈硬化で傷んでいる可能性があります。血管は動脈硬化により硬くなり、収縮、拡張ができなくなるのです。動脈硬化で硬くなっている血管は、ブレークが多く、血栓で詰まり易い血管であり、弾力がないのでむしろ破裂しやすい血管なのです。つまり血圧サージがあるということは、恒常性が破綻し、血管の動脈硬化が進んでいる可能性があるのです。

血圧サージの予防・対応

血圧サージに特別な対応はありません。一般的な高血圧の対応がそのまま血圧サージの対応になります。まずは自分の血圧を正しく測定することが重要です。できれば、朝と夜1日2回、それぞれ2回ずつ測定し、平均値を記録しましょう。起床直後は血圧が高い傾向にあります。起床後30分程度たってリラックスした状態で、1～2分安静にしてから測定しましょう。この1～2分以内に頭を無にできるかもポイントです。ここでいろいろ考えてしまうと血圧は上昇してしまいます。頭の中を空っぽにすることは、ストレス対策にも有効です。

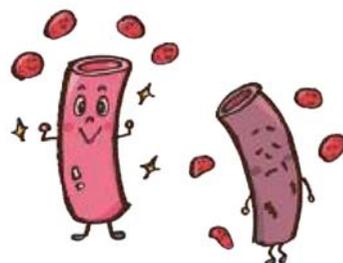
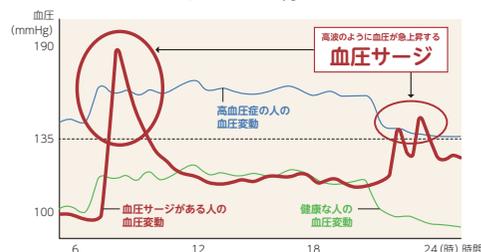
高血圧の一番の対応は、減塩です。他に、減量や運動も血圧低下に効果があります。マラソンのようなあまり激しい運動は勧めませんが、軽い有酸素運動はとても重要です。最近、重視されているのは睡眠です。良い睡眠は、まず時間の確保が重要です。特に日本人は世界的にみると睡眠時間が短い傾向があります。しっかり睡眠時間を確保しましょう。その上で睡眠の質も重要です。室温、音、明るさ等睡眠に適した環境を配慮しましょう。いびきには要注意。睡眠時無呼吸症候群かもしれません。



最後に

血圧サージに注意は必要ですが、血圧が上昇したことを心配することが重要なものではありません。血圧が上昇しやすい普段の生活を見直すことが重要です。心配は、かえって血圧サージを助長します。自分の生活環境、ストレスに注意して、いつまでも若い血管を保つことが、健康的な長生きにつながると思います。

血圧サージとは何か



ケアマネジャー(介護支援専門員)

医療、介護の視点を活かした ケアプランで自立支援



公益社団法人神奈川県看護協会
おおいそ訪問看護ステーション
所長 都築 理絵



資格をとった経緯

病院を退職した後、育児と両立して働ける職場を探し、平成9年から行政が行う訪問指導事業を担う看護師として再就業しました。その後、神奈川県看護協会が大磯町に訪問看護ステーションを立ち上げることにになり、同僚と共に移りました。

平成12年介護保険制度が始まり、それまで行政の保健師や社会福祉士などがケースマネジメントとして行っていた仕事が介護支援専門員(以下、ケアマネジャー)の仕事として介護保険の中に組み込まれました。

新しく創設されたケアマネジャーの資格に興味を持ったことに加えて、日々の訪問看護の業務の中で生活全体をみる視点は欠かせないと痛感していたので、初回のケアマネジャー試験を受けて資格を取得しました。

ケアマネジャーとしての日々の仕事の様子

おおいそ訪問看護ステーションでは、3名のケアマネジャーで居宅介護支援業務を行っています。専任のケアマネジャー1名と私を含めた訪問看護との兼務者2名で、約45名のケアプラン作成をしています。具体的な内容としては、介護認定を受けるための最初の「認定調査」から「ケアプラン作成・給付管理」業務まで多岐にわたります。

病状が不安定な方やターミナルのケースなどは、訪問看護と一緒に新規のご依頼を受けることが多く、タイムリーにきめ細かな対応ができるため、強みになっています。地域の医師やヘルパーなど多職種とコミュニケーションを取り、情報収集に努めながら医療と介護の両方の視点からケアプランを作成しています。

経験から得た学びと仕事への想い

在宅で暮らす人は、多様な価値観の中で生活しています。「家は住んでいる方の心が反映された個人的な空間である」という認識を持ち、いつでも謙虚な姿勢で関わることを大切にしています。この仕事をしていなければ出会えなかった方々に関わる機会をいただくことは、貴重な経験であり喜びでもあります。長期的なかかわりになることも多く、中には15年以上になる方もおられます。長い年月の中ではケアマネジャーと要介護(支援)者という関係性を越えて、人生の先輩として教えていただくこともあります。また、生きる姿勢や生き方を見せていただくことで自分自身にも大きな影響を受けます。

ご本人、ご家族の尊厳を保つことを大切にしながら、訪問看護師としての知識や経験、人脈を活かし、広い視野を持って対応できるケアマネジャーでありたいと思います。



ステーション内で2名のスタッフと
仕事をしている都築さん(中央)

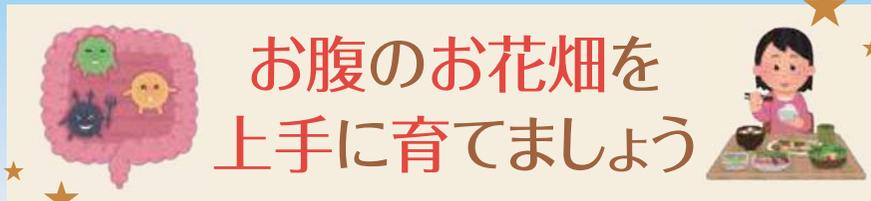
目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

腸内フローラ



このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「腸内フローラ」について、南毛利内科 院長 内山順造先生にお聞きしました。



「腸内フローラって何?」

私たちは皆、お腹の中にお花畑を持っています。「????」そうですね、ここで話してお花畑とは「腸内フローラ」。フローラとはもともと、草原に広がる植物の種類を指す英語ですが「腸内フローラ」とは、我々の腸の表面を覆う細菌の種類のことを言います。

山の木陰の日当たりの悪い湿地には、コケ1種類しか生えないし、高い山の吹きさらしには、草も生えません。日差しがよい花壇でも、肥料や水やりが適切でなければ、いろんな色の綺麗なお花畑を1年中、保つことは難しい。私たちのお腹も同じなのです。

腸の中には100兆個の菌がせめぎ合っている

腸内の表面を覆う細菌の数は、100兆個と言われ、これは我々の身体を構成する全細胞数の10倍という驚くべき数です。この中には、我々の健康や栄養吸収の手助けをしてくれたりビタミンも作ってくれる善玉菌、毒素を作ったり、アレルギーの原因や、肥満、炎症、発がんの原因になる悪玉菌、悪さも取り立てて良いこともしない日和見菌がいます。腸内表面のお花畑では自分の領分をできるだけ増やそうと、これらの細菌たちが、常にせめぎ合っているのです。



善玉菌には栄養が必要

お腹の中の細菌をすべて入れ替えて善玉菌だけにしてしまったらさぞかし健康になりそうですが、そう簡単にはいきません。実はお花畑の様々な植物と同じで、それぞれの細菌はせめぎ合うだけではなく、必要な栄養のやり取りで助け合っているのです。さらに、細菌の種類は、5歳までに決まってしまう、外から入ってきた新参者の善玉菌は、長く住み続けられないことが解ってきています。

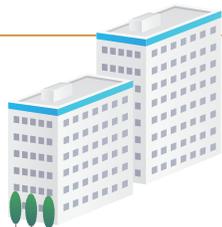
善玉菌を増やすには食生活の改善を

では、どうしたら身体にいい腸内フローラを作れるのでしょうか。それは、お庭のお花畑の手入れと同じなのです。気まぐれでは、ダメ。毎日毎日、綺麗な花が咲き続けるように、適切な肥料とお水を与えて環境を維持、子供のころからお腹に住んでいる善玉菌にエールを送り、悪玉菌は少し控えめに多様性を保ちながら生活していただく。そのためには、適切な食事内容こそが、大切です。

お肉や油を多く摂り、繊維質の少ない食事は、悪玉菌を増やし、菌の種類も減らしてしまいます。食物繊維(野菜、キノコ、海藻)をたくさん摂ると、善玉菌が増えて菌の種類も増えます。低脂肪・高繊維質の食事を続けて、お花畑の環境を整えることで初めてヨーグルトや発酵乳の乳酸菌も腸内畑に住み着くことができることを忘れてはいけません。

一度、自分の腸内フローラを調べてみることも食生活の改善のヒントになるかもしれません。





私の施設のユニーク研修



相手の立場に立つこと それが看護の近道

～高齢者の生活を理解し看護に活かそう～

平塚市民病院
副看護部長 成田 小百合



当院は「私たちは地域医療と市民生命をまもります」という理念を掲げ、患者さんのニーズをくみ取り、質の高い看護を実践するために努力しています。

平塚市では、老年人口の増加に伴い、高齢者の入院比率も増加しています。核家族化が進んだ昨今、高齢者との生活経験を持っている看護師も少なくなっています。そこで、高齢者がどのような日常を送り、何に興味や関心を持っているのか知ることが重要なのではないかと考えました。平成27年度より、高齢者看護の研修を実施し、高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を理解する手立てとしています。

今回は、高齢者疑似体験の様子を皆さんにご紹介します。

「在宅で生活されている高齢者の日常生活」をイメージして、体験メニューを組み立てました。自宅を出て公園を散歩し、自動販売機で飲み物を購入して自宅に戻り、病院から処方されているお薬を飲むというストーリーで、2人1組（体験者役とサポート役）となり、体験研修を開始しました。（表参照）

体験後、高齢者の立場に立って、日々実践している看護をリフレクションし「高齢者に優しくなかった」「困りそうなのが理解できた」「何をお手伝いしたらいいですか？と直ぐに声をかけたい」など、今後の看護に活かせる気づきに繋がる研修となっています。

表 高齢者疑似体験の実際

生活の流れ（研修項目）	体験からの感想
自宅を出て公園に散歩に行く	
階段の上り下り	<ul style="list-style-type: none"> まぶしくて階段の差が見えない 遠近感が分からない 見えにくい チームメンバーの腕が離せない
公園までの道路を歩く	<ul style="list-style-type: none"> 道路の小石につまずく すり足になる 少しの段差でも膝がガクンとなる
公園を散歩する（写真1）	<ul style="list-style-type: none"> 公園を散歩しても周囲を見る余裕がない のんびり安らげない
自宅へ戻り病院から処方された薬を飲む	
ジュース購入（自動販売機ストロー付き）（写真2）	<ul style="list-style-type: none"> 財布の中身を見ても硬貨の区別がつかない 声が大きいと注意され「え？」とさらに大きい声になる 「ここから出して」と、メンバーに財布を渡し出してもらおう 「これいくら？」と大きい声…投入口を手探りしている 「買うのがめんどうくさい」と独り言、そして「は〜」とため息…
処方された薬を指示通りに服用する（写真3）	<ul style="list-style-type: none"> 薬袋に目を近寄せて見ても、袋に書いてある文字が読めない… 「まあ〜 1錠で良いのかな」と独り言… 薬の袋が指先で切れない



ディズニーアカデミー

～中堅看護師がホスピタリティマインドの考え方を学ぶ～

横須賀共済病院
看護師長 大野 直子



当院では2014年度から4～5年目の看護師を対象に、東京ディズニーリゾート企業・団体向けセミナーのディズニーアカデミーを利用した研修を行い、これまでに延べ160人の看護師が参加しました。

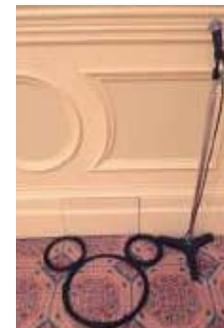
4～5年目の看護師は、中堅看護師として部署の看護実践でリーダーシップを発揮すると共に、プリセプターや看護部の委員会も担い、後輩育成においても役割発揮が求められます。日々の看護業務以外に役割による業務が増え、院内での離職率も高い傾向にありました。そこで、ディズニーリゾートでのホスピタリティマインドの考え方を学び、自己の看護実践を振り返ること、リフレッシュを目的にこの研修を開始しました。

実際の研修は、東京ディズニーリゾートのホテルで行われます。舞浜駅を降りると夢の国の雰囲気につつまれ、会場では席決め用のくじやマイクのコードがミッキーの形になっており、いつもと違う空間に期待も高まります。研修は2時間半のホテルでのレクチャーと、パーク体験で構成されています。レクチャーでは、ゲストに「ハピネス」を提供するという東京ディズニーリゾートのゴールに向かって、キャスト（従業員）が理念や行動規準を共有し自ら行動することの大切さを学びます。レクチャー後のパーク体

験では、地図を見ていたらキャストから声をかけてもらえた等、実際のキャストの行動を視察し体感することで、行動規準に沿った行動を実感することができます。

研修1年後のアンケートでは「相手が何を望んでいるのかを考えて対応するようになった」「後輩に対して、できていることは認め伝えるようになった」などの記述がありました。相手へのおもてなしの心であるホスピタリティマインドは、医療現場にも共通することが多く、自己の実践を

繰り返すよい機会になっていると感じています。また企業理念の実現のため行動規準を共有することの大切さを改めて学ぶことは、後輩育成やチーム活動にも活かされています。この研修をきっかけに、ホスピタリティマインドについて共有し、看護部理念でもある「信頼」につなげていきたいと思っています。



ミッキーの形になったマイクのコード



グループ研修のメンバーたち



ミッキーの形に並べられた席札

施設見学 レポート



神奈川県看護協会医療安全情報検討ワーキンググループが行く

『東京湾フェリーの安全管理について』

見学日時 2018年3月6日(火)
10:00 ~ 14:00

見学場所 東京湾フェリー
久里浜港～富津港に乗船

医療安全情報検討ワーキンググループでは、医療安全に生かせる情報を得るため施設見学を行っており、今回は船舶での安全管理について説明を受け、実際に船内を見学しました。病院での医療安全管理と同様にインシデントの収集、対策、評価（PDCAサイクル）を行い、内部監査、指差し呼称、5S*活動が行われていました。

平成17年に大きな鉄道事故や航空機事故、フェリーの衝突事故等が多数発生しており、これらの事故に共通する因子としてヒューマンエラーが関連していることが多く、安全管理体制を構築するため運輸安全マネジメント制度が平成18年10月に導入されました。ヒューマンエラーには、信号の見落としや管制指示間違い、時間の短縮を図るために心理的ストレスがかかりルール違反を行うなどがありました。船舶においては、コミュニケーションエラーがほとんどであり、職員の心理的ストレス等にも目を向けるようになりました。

経営者は利益を求めだけでなく、現場の職員の安全を第一と考え、同じ職場の職員全員が一丸となって安全対策に取り組む必要があるという内容の教育研修が行われていました。クライシスに関する教育・訓練で海上では他の応援がすぐには得られないため、乗組員が協力する必要がある、機器の整備に関して予備が準備されていました。安全な航海のために、夜間は右側には緑のライト、左側には赤のライトを点灯し、衝突を回避する世界共通のルールがあり、衝突を予防するためにこのルールを守らなければならず、しっかり確認する必要があります。インシデントレポートを閲覧する際、文章ではなくイラストで表現して回覧しているアイデアは取り入れて行きたいと思いました。

普段は見学できない機関室には色々な種類、大きさの工具や補修用品が整備されており、海上で揺れても落ちないなど色々工夫されていました。操舵室では、船の全周が見渡せるわけではないため、それぞれの持ち場の乗組員より船長に無線で情報が集まり、乗組員から情報があるたびに船長が「ありがとう」と声を掛けていたのが印象に残っています。医療の場と共通しているところが多くあり、いろいろなヒントを得た施設見学でした。



機関室の5S

*5S：整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字



操舵室

平成30年度通常総会開催

“課題解決に向けてまい進する”



挨拶する花井会長

去る6月22日(金) 県総合医療会館7階講堂において、平成30年度通常総会が開催されました。

平成30年6月1日現在の総会員数は33,447名、委任状27,332名で参加者数は223名でした。

先ず4月28日に逝去された桃田副会長を始め、9名の物故会員に黙とうをささげました。

花井会長挨拶の後、県看護協会長表彰・授与式、続いて、看護研究奨励賞表彰・授与式が行われ、それぞれ12名と5名の方々が表彰されました。

平成29年度事業報告、30年度重点事業及び事業計画、30年度資金収支予算及び収支予算の報告に続いて、第一号議案、平成29年度決算報告及び



県看護協会長表彰受賞の方々

監査報告の審議が行われ、採決の結果満場一致で承認されました。

質疑応答では、ナースセンターについて「有料職業紹介所に負けないようマンパワー



をしっかりと投入してほしい」との要望が出され、これに対し「県の予算が厳しい中、最大限お役に立てるよう、求人施設訪問や学生にナースセンターの案内をするなど日々努力をしている。不十分な点もあるが、ひきつぎ皆様のご協力をお願いしたい」という回答がありました。

第二号議案で平成30年度役員を選出が行われ、投票の結果、候補者8名全員が選出されました。臨時理事会を経て、長場常務理事、佐藤助産師職能理事、原横浜北支部理事、吉澤横浜西支部理事、濱崎横浜南支部理事、嘉山横須賀支部理事、加藤小田原支部理事、飯塚県央支部理事が選定されました。

なお、平成30年度役員・委員の紹介は本誌P10に、平成29年度事業報告・決算報告はP11～23に掲載しておりますので、ご参照ください。

演奏会

アコースティックギターコンサート

「ギター1本で奏でる インストのルメンタルミュージックの世界」

ギタリスト：ダニエル・コフリン氏

身長190cmという長身のコフリンさんによるアコースティックギターの生演奏では、「インスピレーション（冤罪科帳のテーマ曲）」「コーヒーロンバ」オリジナル曲「コカジ」など計4曲を披露していただきました。オリジナル曲は、昔、天皇に刀を作るように言われた三条宗近がキツネと出会い相継して作刀する、という能の「小鐵治」にちなんで作られたそうです。



ダニエル・コフリン氏

コンサートは、ギター1本とは思えない音色と会場に響きわたる音の広さを感じる素敵な演奏でした。演奏終了後は拍手が鳴りやまず、アンコールに応じてくださいました。

演奏の合間に、思わず「コーヒーロンバ楽しいな～」と話され、ダニエルさん自身が楽しそうに演奏しているのが印象的でした。短い時間でしたが、心から癒されたひとときでした。

(広報出版委員会 坂本宏子)

講演会

「記憶をつなぐラブレター」

講師：城戸真亜子氏



講師の城戸真亜子氏

画家でありタレントでもある城戸さんは、アルツハイマー型認知症のご主人のお母さんと同居を始め、お母さんの日常の変化を日記に書き留めることで「記憶をつなぐラブレター」が生まれたそうです。その日記には悲しいことは書かないと決めており、誉める、感謝の気持ちを表す、絵を添える、写真を入れる、その日に食べたものを記録するなど幸せのものが詰まっているとのことでした。そして、書くことでお母さんからラブレターをもらっていたことに気がついたそうです。

城戸さんは日々の介護の中で、お母さんが悩んでいた、できなかったことに寂しさを感じたりしているのではないかと心配し、朝の目覚めの時に暖かいタオルで体を拭いてあげたり、お化粧やおしゃれをしてデイサービスに出かけられるようにしました。また、自分が出かける時には、不安にならないように置き紙をするなど工夫して、できるだけ明るい気持ちで過ごせるように心配りをしました。

お話を伺い、城戸さんは認知症のお母さんの気持ちを細やかに受け止め、日々の変化に気を配り「寄り添う」ことを実践されていたと感じました。私も家族に近い視点で患者さんのことを考えられる看護師でありたいと思いました。

(広報出版委員会 島村まゆみ)



事業報告

I 公益目的事業 (事業費 646,977 千円)

I-1 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業 (事業費 13,308 千円)

Table with 3 columns: 事業内容, 実施内容, 執行額. Contains details for various public welfare activities including health fairs and seminars.

I-2 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業 (事業費 338,346 千円)

Table with 3 columns: 事業内容, 実施内容, 執行額. Contains details for home nursing and care support services.

平成30年度 委員会名簿

Large table listing various committees and their members, including 職能委員会, 保健師職能委員会, 助産師職能委員会, etc.

(五十音順)

事業内容	実施内容	執行額
<p>1)訪問看護ステーション事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢者まで、病気や障害のある方が、住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように看護師が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し療養生活を支援する。 また、医師や関係機関と連携をとり、様々な在宅ケアサービスを提案する。 ・24時間対応体制の整備、緊急の際の夜間・休日の相談及び訪問、状態の変化や病状の観察・処置、かかりつけ医との連携等 ・がん末期や終末期などでも、自宅で過ごせるよう適切な判断に基づいたケアとアドバイスの実施及び家族等への支援 ・事業所 <ul style="list-style-type: none"> かがやき訪問看護ステーション（藤沢市） あかしあ訪問看護ステーション（茅ヶ崎市） おおいそ訪問看護ステーション（大磯町） 洋光台訪問看護ステーション（横浜市） <p>2)居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢や疾病、障害等による生活障害をもった要介護状態等の人々が、家族の支えや社会的サービスの利用により、自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成や相談等を通して支援する。 ・事業所 <ul style="list-style-type: none"> かがやき訪問看護ステーション（藤沢市） おおいそ訪問看護ステーション（大磯町） <p>3)訪問看護・居宅介護支援事業の質評価</p> <p>(1)利用者満足度調査</p> <p>(2)介護サービス情報公表にかかる自己評価</p> <p>4)地域への活動</p> <p>退院調整のための病院訪問(地域連携室など)</p> <p>訪問看護ステーションの普及・啓発活動</p> <p>訪問看護ステーション教育支援事業(県委託)</p> <p>5)看護職員等の資質の向上</p> <p>(1)訪問看護ステーション内研修</p> <p>訪問看護に関する情報共有、勉強会等</p> <p>(2)事例検討会</p> <p>困難ケース等についての検討会</p> <p>(3)研修への参加</p> <p>6)看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援</p> <p>研修生受け入れ</p> <p>7)関係機関との連携</p> <p>(1)各関係団体との連携と会議への出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション所長会議 年12回 ・事務職員会議 (年1回) ・訪問看護疾患・症状別看護基準の作成 <p>(年間実績延件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数 12,604件 ・訪問件数 6,077件 ・訪問件数 6,270件 ・訪問件数 6,873件 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成数 383件 ・ケアプラン作成数 515件 <ul style="list-style-type: none"> ・年1回 ・年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・各訪問看護ステーション月2回/年24回 ・訪問看護ステーションごとのパンフレット作成 ・広報活動(広報紙、地域住民に向けた健康講座、SNS等の利用) ・同行訪問研修 ・新任または経験の少ない訪問看護師への研修 ・教育担当者への研修 <ul style="list-style-type: none"> ・各訪問看護ステーション 月2~4回 ・各訪問看護ステーション 年3回 ・ST職員 年2回 ・看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等 延165名/4か所 ・各訪問看護ステーション 年10回 <p>共通経費</p>	5,317千円
I-3 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(事業費3,316千円)		

事業内容	実施内容	執行額
<p>1 看護における医療安全体制強化のための支援</p> <p>1)医療安全情報収集・情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全情報検討ワーキング 年9回 ・「医療安全情報」発行 年3回 計4,500部 配布先 病院等施設 	1,297千円

事業内容	実施内容	執行額
<p>2)医療安全管理者養成研修の支援</p> <p>3)医療安全管理者養成研修修了者への活動支援</p> <p>(1)医療安全管理者情報交換と啓発活動</p> <p>4)医療介護福祉従事者への意識啓発及び関連団体との連携推進</p> <p>(1)神奈川県6団体による医療安全推進会議への参加及びセミナー開催</p> <p>(2)(公社)日本看護協会との連携</p> <p>5)医療安全に関する相談・情報提供</p> <p>6)小規模施設の感染予防対策の充実</p> <p>2 災害時の看護支援活動の強化と普及</p> <p>1)関連団体との連携推進</p> <p>(1)(公社)日本看護協会との連携推進</p> <p>(2)県・市合同総合防災訓練への参加及び開催支部との連携</p> <p>(3)県内関連施設との連携</p> <p>(4)横浜市災害看護研修</p> <p>2)災害支援ナースの派遣</p> <p>3)災害への備え・広報活動</p> <p>(1)災害救護対策委員会</p> <p>(2)災害発生時のマニュアル整備</p> <p>(3)災害看護研修の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット配信研修/リアルタイム 災害支援ナースの基礎知識 ・災害看護マネジメント研修 ・災害看護実務編 災害支援ナース育成研修 <p>(4)災害支援ナース登録推進</p> <p>災害支援ナーススキルアップ研修</p> <p>(5)県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発</p> <p>リーフレット展示・デモンストレーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故対応訓練の手引き(Ver.1)改訂 ・医療安全資料(平成20年以降発行)の見直し ・年1回 7日間 受講者84名 ・交流会 年11回 (講演会1回を含む) ・神奈川県医療安全推進セミナー開催団体として講演会開催 テーマ「医療事故発生後のリスクマネジメント」 講師:和田 仁孝氏 川谷 弘子氏 受講者:313名 ・会議 年1回 ・事故に関係した看護職への支援、相談対応 医療事故防止対策に関する広報 「医療安全情報」ホームページ掲載 医療安全推進週間の広報(11月25日含む前後一週間) ・認定看護師による出張相談 0件 (講演会講師派遣依頼 3件) ・(公社)日本看護協会災害担当者会議 年1回 ・都道府県看護協会 災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加 年1回 3日間 ・医療救護活動訓練への参加 合同総合防災訓練会議 年2回 ・県内関連施設との防災訓練 年1回 ・年2回 延2日 延受講者69名 ・神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づき災害支援ナース派遣 ・定例会 年8回 臨時1回 ・防災関連リーフレット作成・配布 年1回 368部 ・「KANAGAWA看護だより掲載」年1回 ・災害時受援マニュアルの検討 ・災害支援ナースハンドブック改訂 ・災害支援ナース携帯物品の整備の検討 6セット配置 ・受講者121名 2日 ・受講者41名 2日 ・受講者57名 2日 ・募集ポスター作成 年1回3,050部 登録手続き ・年1回1日 受講者89名 対象者:災害支援ナース登録者 ・県・市合同防災訓練、看護フェスティバル等でリーフレット配布 <p>2,019千円</p>	2,019千円
I-4 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(事業費45,937千円)		

事業内容	実施内容	執行額
<p>1 看護職の資質向上の支援</p> <p>1)継続教育の推進</p>		21,535千円

事業内容	実施内容	執行額
(1)看護実践力向上研修 ・看護共通分野の研修 ・看護専門分野の研修 ・態度、感性を磨く研修	・研修34回 延48日 延受講者 3,235名	7,981千円
(2)看護安全力向上研修	・研修3回 3日 受講者372名	
(3)看護管理研修	・研修6回 9日 受講者493名	
(4)小規模施設看護職員のキャリア形成支援Ⅰ	・研修7回 8日 受講者10名	
(5)小規模施設看護職員のキャリア形成支援Ⅱ	・研修6回 8日 受講者4名	
(6)研修運営事業	・「教育計画」タブレット版作成 年1回 50,000部 ・実施報告書作成 年1回 1,320部 ・次年度教育計画・事業(案)説明会 参加者102名	
(7)オープンセミナー	・病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開 延228研修	
2)新人看護職研修の充実		
(1)がんばれ新人ナース研修	・1日 受講者672名	
(2)新人看護職員研修	・5日 受講者53名	
(3)指導者養成 ・実地指導者研修Ⅰ、Ⅱ ・研修責任者研修	・5日 受講者30名、2日 受講者21名 ・3日 受講者61名	
(4)新人看護職員研修推進協議会・新人看護職員研修検討会	・年5回	
3)支部との連携研修	・年1回 2日 受講者95名(横須賀支部)	
4)看護研究の充実		
(1)神奈川看護学会の開催	・年1回 12月2日(土)開催 会場 パシフィコ横浜アネックスホール 来場参加者数 904名 ・運営委員会 年4回 ・看護研究奨励賞選考：特別奨励賞 1演題、奨励賞 4演題 ・研究指導講師紹介 4グループ	
(2)看護研究推進支援		
5)教育企画運営に向けての支援		
(1)教育研修委員会	・定例会 年8回 研修担当 年平均6日 日本看護協会主催会議・研修参加 延2日間 2名 教育研修委員の研修会 年1回 受講者26名	
(2)准看護師教育検討委員会	・定例会 年5回 ・研修会 年3回 延受講者152名	
2 看護職の活動の充実		
1)職能における研修等		
(1)保健師職能に関する研修等	・定例会 年12回 講演会 年4回 受講者 延230名	
(2)助産師職能に関する研修等	・定例会 年12回 講演会 年1回 受講者 82名 研修会 年4回 受講者 延278名	
(3)看護師職能Ⅰに関する研修等	・定例会 年12回 臨時 4回 講演会 年1回 受講者 107名 研修会 年2回 受講者 延417名	
(4)看護師職能Ⅱに関する研修等	・定例会 年11回 講演会 年1回 受講者 93名 研修会 年2回 受講者 130名	
2)支部における研修等		
(1)川崎支部	・定例会 年8回 講演会 年1回 受講者 97名 研修会 年3回 受講者 延168名	
(2)横浜北支部	・定例会 年12回 講演会 年1回 受講者 38名	

事業内容	実施内容	執行額
(3)横浜西支部	研修会 年3回 受講者 延132名 新 研修会(県委託) 年1回 受講者 34名 ・定例会 年12回 講演会 年1回 受講者 23名 研修会 年3回 受講者 延112名 新 研修会(県委託) 年1回 受講者 67名	16,421千円
(4)横浜南支部	・定例会 年11回 講演会 年1回 受講者 38名 研修会 年3回 受講者 延102名 看護研究発表会 年1回 受講者 41名 シンポジウム 年1回 参加者 43名	
(5)横須賀支部	・定例会 年11回 講演会 年1回 受講者 69名 研修会 年2回 受講者 延135名 新 研修会(連携) 年1回 受講者 95名 看護研究発表会 年1回 受講者 119名	
(6)相模原支部	・定例会 年12回 講演会 年2回 受講者 延157名 研修会 年1回 受講者 78名 看護研究発表会 年1回 受講者 88名	
(7)小田原支部	・定例会 年11回 講演会 年1回 受講者 72名 研修会 年3回 受講者 延275名 看護研究発表会 年1回 受講者 125名	
(8)湘南支部	・定例会 年10回 講演会 年1回 受講者 69名 研修会 年2回 受講者 延102名 看護研究発表会 年1回 受講者 91名 新 研修会(県委託) 年1回 受講者 61名	
(9)県央支部	・定例会 年12回 講演会 年1回 受講者 57名 研修会 年2回 受講者 延100名 看護研究発表会 年1回 受講者 66名	
3)看護職員の就業環境改善の促進		
(1)業務委員会	2025年の超高齢社会に向けて、高齢者の特性を理解し、日々の看護業務に活かせるよう情報交換・交流の機会を提供し、これからの高齢者看護のあり方を考える。	
(2)社会経済福祉委員会	・健康で安全に働き続けられる労働環境について学びの機会や情報を提供する ・ハラスメントについて学び、安心して働き続けられる職場環境作りに向けた取り組みをしていく。	
3 地域看護の推進と拡充		
1)地域看護の質向上と推進		
(1)訪問看護の推進	・訪問看護ステーション一覧の作成	
(2)「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置	訪問看護等に関する相談・助言	
2)地域看護の質向上に関する研修		
(1)地域看護における看護職員の育成	・訪問看護入門研修会	
(2)業務委員会	・定例会 年12回 ・シンポジウムまたは講演会の開催 年1回 受講者101名	
(2)社会経済福祉委員会	・定例会 年11回 ・講演会 1回(10月) 受講者119名	
(1)訪問看護の推進	・年1回 計 2,000部 配布先 訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載	
(2)「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置	・週1回	
(1)地域看護における看護職員の育成	・年7回 2日間 受講者 179名	

事業内容	実施内容	執行額
・訪問看護師養成講習会 ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 ・地域連携のための相互研修会 (支部との連携研修) ・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル) ・委員会 (2)地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立 ・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル) ・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 ・重度重複障がい者等支援看護師養成研修 3)地域看護におけるトップマネージャーの育成 ・訪問看護ステーション管理者研修会 ・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	・年1回 30日間 受講者 71名 ・年1回 3日間 受講者 62名 ・年3回 3日間 受講者 172名 ・年1回 3日間 受講者 72名 ・年1回 3日間 受講者 71名 ・年1回 11日間 受講者 73名 ・年4回 各1日間 受講者 各549名 ・年1回 1日間 受講者 92名 ・年1回 3日間 受講者 73名	

	I-1、I-3、I-4 共通経費	156,169千円
--	------------------	-----------

I-5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(事業費89,901千円)

事業内容	実施内容	執行額
1 看護職員確保定着対策の推進 1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所、他1支所) (1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 (2) 第5次NCCSの運用 (3) 相談員の質の向上 ・相談員学習会 2) 届出制度の促進及び支援事業 (1) 届出制度の普及 (2) 届出者の情報管理 (3) 届出者の相談及び就業支援 3) ハローワーク・ナースセンター連携事業 (1) 労働局・横浜公共職業安定所との連携 ・求人票・求職者の情報交換と支援 ・職種別賃金等の情報交換 ・巡回相談の実施 ・運営及び情報共有の会議 ・相談会等への相談員の派遣 4) 広報活動及び情報提供事業 (1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布 (2) 看護学生・教員への周知 (3) 年報の発行 (4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外) (5) ナースセンターホームページの活用促進 ・定期的な情報の更新 5) 関係機関との連携・会議 (1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携 (2) 社会福祉協議会 福祉人材センターとの連携 ・福祉施設等就職相談会等への協力・後援 (3) 会議 ・看護職員確保対策連絡協議会 ・ナースセンター事業運営委員会 ・ナースセンター連絡会議 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議 ・都道府県ナースセンター相談員研修	・通年 ・求人相談: 5,765件 求職相談: 4,965件 ・求人施設の個別支援: 訪問47施設 ・就職数 年595件(延べ) ・相談員学習会: 3回/年 ナースセンター連絡会議後と他1日 ・通年 ・届出数: 2,550人 ・相談通年 ・就職・研修等の情報提供: 1回/月以上 ・情報交換会等の交流会の開催: 1回/年 ・巡回相談 月/4回 面談者85人 ・ケース会議: 巡回時に開催 ・連絡調整会議の開催: 2回/年 ・連携した相談・見学会の実施: 5回/年 ・求人・求職の情報共有 ・未就業看護職・施設への配布: 5,000部 ・看護等養成学校訪問: 10校 ・200部 配布先 行政機関等91箇所7月1回/年 ・利用件数 年84件 ・通年 ・届出数報告/月、巡回相談日「看護職」への道 ・通年/随時 ・福祉施設等就職相談会への派遣 登録求職者への研修案内配布協力 ・1回/年 10月 ・1回/年 10月 ・2回/年 4月、10月 ・1回/年 5月 ・1回/年 5月	76,947千円

事業内容	実施内容	執行額
・都道府県ナースセンター地区別意見交換会 6) 看護職員確保定着に関する調査事業 7) 看護職員の定着を図るための相談事業 就業者の就業相談の実施 8) 未就業看護師等への「復職支援研修」事業 未就業看護師等研修会の開催 9) 潜在看護職員再就業支援事業 ・潜在看護職員の掘り起しのための普及啓発 ・再就業支援事業 ・施設対象の説明会 2 看護に関する普及啓発事業の充実 1) 進路相談事業 ・進路相談の実施 2) 看護フェスティバル開催への協働 「一日看護体験」実施施設との調整 3) 看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発	・1回/年 8月 ・1回/年 ・通年 ・2回/年 受講者: 102人(延べ) 就職数: 30人 ・ポスター掲示、リーフレット配布、動画作成 再就業セミナーの開催 4回 施設向け事業説明会 2回 ・通年 相談件数88件/年 ・案内期間 5月1日～8月31日 ・看護フェスティバルでの相談: 58件 ・中・高校訪問5校 ・「やさしさがキャリアになる」作成: 18,000部(県共同作成) 看護学生へ配布 共通経費	3,488千円 9,466千円

II 収益事業

II-1 会員支援事業(事業費101,737千円)

事業内容	実施内容	執行額
1 会員に対する支援事業等1 1) 委員会及び支部における情報提供等 (1) 保健師職能委員会 (2) 助産師職能委員会 (3) 看護師職能委員会Ⅰ (4) 看護師職能委員会Ⅱ (5) 川崎支部 (6) 横浜北支部 (7) 横浜西支部 (8) 横浜南支部 (9) 横須賀支部 (10) 相模原支部 (11) 小田原支部 (12) 湘南支部 (13) 県央支部 2) 会員支援に関する事業 (1) 「看護職賠償責任保険制度」加入の推進 (2) 会員の進学支援 (3) 表彰 (4) 神奈川県看護協会指定店事業 (5) 会員の慶弔等への対応 (6) 会員相互の親睦を深める機会の充実 ・新春のつどい ・会員交流会	・職能集会 年1回 「職能だより」の発行 年1回 1,000部 配布先 県市町村・企業・病院・地域包括支援センター等 ・職能集会 年1回 「職能だより」の発行 年1回 1,500部 配布先 病院等施設 ・職能集会 年1回 ・職能集会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回(横浜西支部との共同開催) ・支部大会 年1回(横浜北支部との共同開催) ・支部大会・講演会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・加入者数 8,467名 ・大学等への進学の推薦 ・各表彰への推薦 ・約300店舗 ・弔慰金支給 7件 傷病見舞金支給 ・平成30年1月25日(木) 横浜ロイヤルパークホテル 参加者 344名 ・平成29年8月12日(土) 参加者85名 対象60歳以上の会員(平成30年3月末現在)	8,912千円

事業内容	実施内容	執行額
(7)お年玉プレゼント(広報出版委員会) (8)会員サポート事業 2 会員に対する支援事業等2 1)看護管理者に対する研修支援事業 2)看護管理者及びスペシャリストのための学習支援 (1)認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議 ・ファーストレベル ・セカンドレベル ・セカンドレベルフォローアップ研修 (2)認定看護師教育課程事業 ・緩和ケア認定看護師教育課程 ・公開講義 ・緩和ケア認定看護師教育課程運営会議 ・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 (3)看護管理者研修事業2 ・看護管理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ研修 ・医療安全管理者養成研修 ・重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修(衛星通信配信)	・当選者 46名 ・メンタルヘルス研修 1回 受講者 103名 ・看護補助者活用推進研修 1回受講者 179名 ・定例会 年3回 ・研修期間 平成29年4月27日～9月8日 受講者 71名 ・研修期間 平成29年10月5日～ 平成30年3月2日 受講者 39名 ・受講者 79名 年1回 ・研修期間 平成29年4月5日 ～平成30年3月14日 受講者 32名 ・受講者 196名 ・定例会 年2回 ・受講者 165名 ・研修5回 延8日 延受講者 417名 ・受講者 84名 7日間 ・受講者 243名 年2回	19,184千円
	共通経費	73,641千円

Ⅲ 法人管理事業

Ⅲ-1 法人管理事業(管理費 61,214千円)

事業内容	実施内容	執行額
1 職能団体としての組織・運営強化 1)諸会議の開催 (1)通常総会(決算) (2)理事会 (3)事業説明会 (4)財政会議 (5)新聞への広告掲載 2)(公社)日本看護協会との連携 (1)総会参加 (2)全国職能別集会参加 3)公益法人に関する業務等 4)事務局機能の整備・充実 (1)事務局情報・通信システムの運用・管理 (2)役職員の資質向上のための研修実施及び学会参加 5)委員会 (1)推薦委員会 平成30年度役員の推薦・選出 (2)会員委員会 会員増への取り組み	・平成29年6月16日(金) ・定例5回、臨時1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回 ・平成29年6月7日(水) 開催地:千葉県 幕張メッセ ・平成29年6月8日(木) ・ホームページ、「KANAGAWA看護だより」等の活用 ・研修 事務局、訪問看護ステーション 年各1回 学会参加 年6回 ・定例会 年4回 ・定例会 年10回 ・施設見学 年1回 受講者 36名 ・入会案内リーフレットの作成 6,000部 配布先 病院等施設、看護学校等 ・事業案内パンフレット印刷 6,000部 ・入会案内ダイレクトメール発送 ・協会紹介動画修正 ・入会に関する実態調査	17,461千円

事業内容	実施内容	執行額
(3)倫理審査会 2 政策への提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 1)国、神奈川県、関係団体への要望 医療制度、看護教育制度、診療報酬、看護職員 の働く環境、看護提供体制の改善・充実等 2)神奈川県との連携 3)県内医療関係団体等との連携・交流の推進	・年1回 開催なし ・年4回	
	共通経費	43,753千円

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	616,982,108	567,920,504	49,061,604
未収金	79,752,812	77,535,729	2,217,083
前払金	5,583,354	5,328,287	255,067
立替金	280,916	90,720	190,196
仮払金	158,000	0	158,000
流動資産合計	702,757,190	650,875,240	51,881,950
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	433,022,212	442,766,564	△ 9,744,352
基本財産合計	535,822,985	545,567,337	△ 9,744,352
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	2,695,200	8,928,800	△ 6,233,600
退職給付引当資産	78,970,915	70,649,138	8,321,777
資産取得積立資産	687,224,452	666,359,228	20,865,224
建物建替積立資産	257,836,203	245,311,288	12,524,915
特定資産合計	1,026,726,770	991,248,454	35,478,316
(3) その他固定資産			
車両運搬具	4	4	0
什器備品	835,584	1,093,726	△ 258,142
敷金	22,684,000	22,684,000	0
保証金	6,102,702	2,973,000	3,129,702
その他固定資産合計	29,622,290	26,750,730	2,871,560
固定資産合計	1,592,172,045	1,563,566,521	28,605,524
資産合計	2,294,929,235	2,214,441,761	80,487,474
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,968,134	12,367,991	11,600,143
前受金	181,344,800	148,538,000	32,806,800
預り金	21,001,758	10,915,785	10,085,973
役員賞与引当金	1,219,000	1,219,000	0
賞与引当金	11,573,000	11,192,000	381,000
流動負債合計	239,106,692	184,232,776	54,873,916
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	2,695,200	8,928,800	△ 6,233,600
退職給付引当金	78,970,915	70,649,138	8,321,777
固定負債合計	81,666,115	79,577,938	2,088,177
負債合計	320,772,807	263,810,714	56,962,093
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381
(うち基本財産への充当額)	535,822,985	545,567,337	△ 9,744,352
(うち特定資産への充当額)	906,892,456	886,027,232	20,865,224
正味財産合計	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381
負債及び正味財産合計	2,294,929,235	2,214,441,761	80,487,474

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,211,302	1,268,269	△ 56,967
特定資産受取利息	1,211,302	1,268,269	△ 56,967
受取入会金	72,746,000	69,947,000	2,799,000
受取入会金	72,746,000	69,947,000	2,799,000
受取年会費	213,582,000	214,326,000	△ 744,000
受取年会費	213,582,000	214,326,000	△ 744,000
事業収益	423,958,781	418,877,220	5,081,561
受講料等収益	71,675,776	78,376,738	△ 6,700,962
受託事業資料代収益	5,161,500	6,126,000	△ 964,500
参加費収益	6,191,000	5,921,000	270,000
訪問看護事業収益	329,310,266	318,274,545	11,035,721
療養費収益	120,100,581	103,248,197	16,852,384
介護保険収益	203,978,272	210,775,530	△ 6,797,258
その他利用収益	5,231,413	4,250,818	980,595
居室介護支援事業収益	11,620,239	10,178,937	1,441,302
受取補助金等	118,184,268	111,676,229	6,508,039
受取神奈川県補助金等収益	97,521,830	91,032,468	6,489,362
ナースセンター事業受託収入	48,188,000	43,203,000	4,985,000
看護研修事業受託収入	604,000	604,000	0
訪問看護指導人研修受託収入	1,380,000	1,380,000	0
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,402,999	1,402,999	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	841,000	841,000	0
新人看護職員研修体制整備事業受託収入	4,278,085	4,591,000	△ 312,915
潜在看護職員活用推進事業受託収入	5,040,000	5,040,000	0
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,531,000	1,531,000	0
緩和ケア認定看護師養成事業受託収入	2,209,000	2,209,000	0
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	25,902,127	26,444,803	△ 542,676
看護師管理能力養成研修事業受託収入	735,000	735,000	0
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	689,619	690,000	△ 381
訪問看護ステーション教育支援事業受託収入	4,721,000	2,360,666	2,360,334
受取横浜市補助金等収益	2,942,000	2,990,000	△ 48,000
訪問看護研修会事業受託収入	1,100,000	1,100,000	0
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,554,000	1,554,000	0
災害支援ナース研修事業受託収入	288,000	336,000	△ 48,000
受取川崎市補助金等収益	556,000	556,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	556,000	556,000	0
受取相模原市補助金等収益	1,033,038	1,036,161	△ 3,123
ナースセンター事業受取補助金	1,033,038	1,036,161	△ 3,123
受取日本看護協会補助金等収益	15,159,400	15,089,600	69,800
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,105,790	10,081,360	24,430
会員登録事務業務受託収益	5,053,610	5,008,240	45,370
受取団体助成金等収益	972,000	972,000	0
団体助成金収入	972,000	972,000	0
受取寄付金	4,460,000	4,730,000	△ 270,000
受取寄付金	1,010,000	1,010,000	0
協賛金収益	3,450,000	3,720,000	△ 270,000
かながわ看護フェスティバル	3,450,000	3,720,000	△ 270,000
雑収益	2,261,690	1,742,823	518,867
受取利息	34,710	69,655	△ 34,945
その他の雑収益	2,226,980	1,673,168	553,812
経常収益計	836,404,041	822,567,541	13,836,500
(2) 経常費用			
事業費	748,713,965	736,139,945	12,574,020
役員報酬	21,548,099	20,955,990	592,109
給料手当	390,936,388	380,900,420	10,035,968
臨時雇賃金	14,926,724	15,547,755	△ 621,031
役員賞与引当金繰入額	885,000	697,000	188,000
賞与引当金繰入額	10,918,000	10,340,000	578,000
役員退職慰労引当金繰入額	87,557	1,782,935	△ 1,695,378
退職給付費用	10,586,179	9,363,412	1,222,767
法定福利費	59,133,964	57,330,031	1,803,933
福利厚生費	6,969,886	6,959,503	10,383
会議費	732,207	676,403	55,804
旅費交通費	8,553,948	8,619,058	△ 65,110
広告宣伝費	1,978,980	3,087,590	△ 1,108,610
通信運搬費	10,731,514	12,757,208	△ 2,025,694
減価償却費	11,308,328	11,151,690	156,638
消耗什器備品費	5,784,481	1,818,505	3,965,976
消耗品費	18,036,747	16,182,139	1,854,608
修繕費	280,510	1,145,313	△ 864,803
印刷製本費	23,376,873	25,514,529	△ 2,137,656
燃料費	1,556,130	1,471,142	84,988
光熱水料費	2,954,917	2,664,985	289,932
賃借料	48,975,980	45,251,812	3,724,168
支払リース料	19,510,934	17,588,099	1,922,835
保険料	2,707,390	3,015,660	△ 308,270
諸謝金	34,868,452	37,962,900	△ 3,094,448
租税公課	7,989,632	7,476,875	512,757
支払手数料	1,339,973	1,561,468	△ 221,495
支払負担金	13,995,372	20,665,739	△ 6,670,367
支払寄付金	0	253,881	△ 253,881
委託費	17,677,135	13,053,469	4,623,666
雑費	362,665	344,434	18,231
管理費	61,214,243	68,226,965	△ 7,012,722
役員報酬	7,801,943	9,434,110	△ 1,632,167
給料手当	18,039,571	18,072,732	△ 33,161
役員賞与引当金繰入額	334,000	522,000	△ 188,000
賞与引当金繰入額	655,000	852,000	△ 197,000
役員退職慰労引当金繰入額	43	65	△ 22
退職給付費用	68,195	68,119	76
法定福利費	4,668,189	5,385,345	△ 717,156
福利厚生費	2,488,990	2,620,782	△ 131,792
会議費	186,842	180,869	5,973
旅費交通費	1,325,290	1,200,280	125,010
広告宣伝費	108,000	108,000	0
通信運搬費	3,625,912	5,268,561	△ 1,642,649
減価償却費	1,765,578	1,765,578	0
消耗什器備品費	374,328	107,028	267,300
消耗品費	1,260,317	3,163,132	△ 1,902,815
修繕費	22,237	25,000	△ 2,763
印刷製本費	2,475,015	2,525,180	△ 50,165
賃借料	64,800	97,170	△ 32,370
支払リース料	1,908,752	1,751,427	157,325
保険料	79,120	416,320	△ 337,200
諸謝金	1,580,277	1,364,520	215,757
渉外費	30,000	30,800	△ 800
租税公課	2,300,177	4,257,408	△ 1,957,231
支払手数料	858,193	872,684	△ 14,491
支払負担金	5,365,723	6,429,309	△ 1,063,586
支払助成金	155,000	105,000	50,000
委託費	3,476,377	1,389,346	2,087,031
雑費	196,374	214,200	△ 17,826
経常費用計	809,928,208	804,366,910	5,561,298
評価損益等調整前当期経常増減額	26,475,833	18,200,631	8,275,202
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	26,475,833	18,200,631	8,275,202
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,950,452	1	2,950,451
経常外費用計	2,950,452	1	2,950,451
当期経常外増減額	△ 2,950,452	△ 1	△ 2,950,451
当期一般正味財産増減額	23,525,381	18,200,630	5,324,751
一般正味財産期首残高	1,950,631,047	1,932,430,417	18,200,630
一般正味財産期末残高	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	8,553,948	8,619,058	△ 65,110
広告宣伝費	1,978,980	3,087,590	△ 1,108,610
通信運搬費	10,731,514	12,757,208	△ 2,025,694
減価償却費	11,308,328	11,151,690	156,638
消耗什器備品費	5,784,481	1,818,505	3,965,976
消耗品費	18,036,747	16,182,139	1,854,608
修繕費	280,510	1,145,313	△ 864,803
印刷製本費	23,376,873	25,514,529	△ 2,137,656
燃料費	1,556,130	1,471,142	84,988
光熱水料費	2,954,917	2,664,985	289,932
賃借料	48,975,980	45,251,812	3,724,168
支払リース料	19,510,934	17,588,099	1,922,835
保険料	2,707,390	3,015,660	△ 308,270
諸謝金	34,868,452	37,962,900	△ 3,094,448
租税公課	7,989,632	7,476,875	512,757
支払手数料	1,339,973	1,561,468	△ 221,495
支払負担金	13,995,372	20,665,739	△ 6,670,367
支払寄付金	0	253,881	△ 253,881
委託費	17,677,135	13,053,469	4,623,666
雑費	362,665	344,434	18,231
管理費	61,214,243	68,226,965	△ 7,012,722
役員報酬	7,801,943	9,434,110	△ 1,632,167
給料手当	18,039,571	18,072,732	△ 33,161
役員賞与引当金繰入額	334,000	522,000	△ 188,000
賞与引当金繰入額	655,000	852,000	△ 197,000
役員退職慰労引当金繰入額	43	65	△ 22
退職給付費用	68,195	68,119	76
法定福利費	4,668,189	5,385,345	△ 717,156
福利厚生費	2,488,990	2,620,782	△ 131,792
会議費	186,842	180,869	5,973
旅費交通費	1,325,290	1,200,280	125,010
広告宣伝費	108,000	108,000	0
通信運搬費	3,625,912	5,268,561	△ 1,642,649
減価償却費	1,765,578	1,765,578	0
消耗什器備品費	374,328	107,028	267,300
消耗品費	1,260,317	3,163,132	△ 1,902,815
修繕費	22,237	25,000	△ 2,763
印刷製本費	2,475,015	2,525,180	△ 50,165
賃借料	64,800	97,170	△ 32,370
支払リース料	1,908,752	1,751,427	157,325
保険料	79,120	416,320	△ 337,200
諸謝金	1,580,277	1,364,520	215,757
渉外費	30,000	30,800	△ 800
租税公課	2,300,177	4,257,408	△ 1,957,231
支払手数料	858,193	872,684	△ 14,491
支払負担金	5,365,723	6,429,309	△ 1,063,586
支払助成金	155,000	105,000	50,000
委託費	3,476,377	1,389,346	2,087,031
雑費	196,374	214,200	△ 17,826
経常費用計	809,928,208	804,366,910	5,561,298
評価損益等調整前当期経常増減額	26,475,833	18,200,631	8,275,202
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	26,475,833	18,200,631	8,275,202
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,950,452	1	2,950,451
経常外費用計	2,950,452	1	2,950,451
当期経常外増減額	△ 2,950,452	△ 1	△ 2,950,451
当期一般正味財産増減額	23,525,381	18,200,630	5,324,751
一般正味財産期首残高	1,950,631,047	1,932,430,417	18,200,630
一般正味財産期末残高	1,974,156,428	1,950,631,047	23,525,381
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0		

財産目録

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金		手元保管	運転資金として	853,114
普通預金				310,447,712
共通・新会費横浜県庁	横浜銀行県庁支店		運転資金として	101,125,617
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店		運転資金として	32,700,567
公益・受講料	横浜銀行関内支店		運転資金として	597,532
公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店		運転資金として	35,269
公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店		運転資金として	330,000
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店		運転資金として	10,514,689
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店		運転資金として	10,045,798
収益・ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行		運転資金として	6,748,800
法人・横浜関内	横浜銀行関内支店		運転資金として	96,770,881
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店		運転資金として	491,831
かがやきS T	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	14,878,591
かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	297,946
かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	4,404,843
あかしあS T	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	11,590,235
あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	708,162
おおいそS T	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	7,445,809
おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	468,015
おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	5,148,969
洋光台S T	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	5,653,173
洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店		運転資金として	490,985
定期預金				305,681,282
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店		運転資金として	91,902,932
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店		運転資金として	26,097,131
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店		運転資金として	50,676,618
法人・横浜関内	横浜銀行関内支店		運転資金として	122,855,284
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店		運転資金として	14,149,317
未収金			訪問看護療養費、県・市受託金等	79,752,812
前払金			家賃・駐車場代・会場予約金等	5,583,354
立替金			他会計消耗品費等	280,916
仮払金			「まちの保健室」事業費	158,000
流動資産合計				702,757,190
(固定資産)				
基本財産				
土地		横浜市中区富士見町3番地1 (地積246.57㎡) (地積158.29㎡) (地積52.77㎡) (地積33.51㎡)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (70,110,127円) 収益事業等の用に供している (17,887,334円) 管理運営の用に供している (14,803,312円)	102,800,773
建物				433,022,212
建物(一般)		神奈川県総合医療会館 (5階一部・6階)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (272,725,164円) 収益事業等の用に供している (90,908,388円) 管理運営の用に供している (61,171,999円)	424,805,551
建物附属設備			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	6,592,684
		清康ビル研修室		5,988,245
		洋光台訪問看護ステーション		604,439
造作		洋光台訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	1,623,977

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産				
役員退職慰労引当資産		横浜銀行県庁支店	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	2,695,200
退職給付引当資産		神奈川県債	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	78,970,915
		横浜銀行県庁支店		50,000,000
資産取得積立資産		横浜銀行県庁支店	研修センター取得に備えたもの(公益目的資産取得費)	28,970,915
建物建替積立資産		横浜銀行県庁支店	総合医療会館建替に備えたもの	687,224,452
			公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (165,932,045円)	257,836,203
			収益事業等の用に供している (54,936,512円)	
			管理運営の用に供している (36,967,616円)	
その他固定資産				
車両運搬具		訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	4
什器備品		訪問看護ステーション ・事務所付設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (829,573円)	835,584
敷金		キャリア支援研修センター藤沢池	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (6,011円)	22,684,000
保証金		清康ビル研修室 ・訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	6,102,702
固定資産合計				1,592,172,045
資産合計				2,294,929,235
(流動負債)				
未払金		公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	居宅介護費用振替額等 (21,146,495円) コピー・印刷代等 (155,232円) 平成29年度退職手当等 (2,666,407円)	23,968,134
前受金		次年度会費	平成30年度会費	181,344,800
		次年度協賛金	平成30年度フェスティバル協賛金	330,000
		その他	平成30年度ファーストレベル受講料	6,220,800
預り金		健康保険料	平成30年3月分	21,001,758
		厚生年金保険料	〃	6,185,446
		源泉所得税	〃	10,089,887
		市・県民税	〃	770,099
		親和会費	平成30年4、5月分	1,674,100
		会費	返金用	2,000
		報償費等所得税	平成30年3月講師報償税	88,000
		合宿費	平成30年度ファーストレベル宿泊研修費	291,316
		交通費日当	日本看護協会会議交通費等	528,000
		その他	日本看護協会分受講料等	12,320
		役員賞与引当金		1,360,590
		事業費	平成29年度負担額	1,219,000
		管理費	〃	885,000
		賞与引当金		334,000
		事業費	平成29年度負担額	11,573,000
		管理費	〃	10,918,000
				655,000
流動負債合計				239,106,692
(固定負債)				
役員退職慰労引当金		期末退職給付要支給額		2,695,200
退職給付引当金		〃		78,970,915
固定負債合計				81,666,115
負債合計				320,772,807
正味財産				1,974,156,428



こんにちは**事務局**です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

平成30年度教育研修C群・D群 申し込み受付

申し込み受付期間／

C群 9月1日(土)～7日(金)消印有効

D群 11月1日(木)～7日(水)消印有効

※詳細については別途施設あてに送付する「日程表」をご確認ください。

問合せ／研修課 教育研修班 ☎045-263-2926

助産師職能委員会研修会①

日時／10月19日(金) 13:30～16:30

場所／神奈川県総合医療会館 7階 講堂

内容／「新生児フィジカルアセスメント」

講師／横浜市立大学附属市民総合医療センター
総合周産期母子医療センター部長
准教授 関 和男

対象／看護師

参加費／1,000円(会員:無料)

助産師職能委員会研修会②

日時／11月16日(金) 13:30～16:30

場所／神奈川県看護協会 第1研修室

内容／「周産期メンタルヘルス」

講師／群馬大学医学部保健学科 教授 常盤洋子

対象／看護師

参加費／1,000円(会員:無料)

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



妊産婦さんの心と身体 に寄り添った、心がかよ う助産ケアを

——かもめ助産院(横須賀市)

かもめ助産院は「自然の摂理を尊重し、妊産婦が本来もっている力を最大限に発揮できるよう、心がかよ助産ケアの提供」を理念に掲げて2001年に開院、今年で18年目を迎え、1000人以上の赤ちゃんが誕生しています。

妊婦健診・入院分娩以外にも、3年ほど前から横須賀市でも導入された産後ケアの委託事業所として年間300人ほどの母子に利用いただいています。

今年4月からは、少子高齢化の進む今だからこそ、もっと助産師のケアが地域で必要なのではないかと考え、訪問看護ステーションも立ち上げました。

開業以来、私達にできることは何かと地域の助産師としての可能性を模索し続けています。これからも私達の助産ケアを様々な形で健やかな母子の成長のために提供していきたいと思ひます。

院長 鈴木 令佳

平成30年度入会・継続手続き受付中!

■変更手続きについて

所属施設・自宅住所等の変更がある方は必ず県協会までご連絡ください。変更の届けがない場合は、次年度の継続のお知らせが届かない場合がございます。

■コンビニ・銀行の払込用紙をお持ちの方

早急にご納入ください。用紙を紛失された方は県協会までご連絡ください。

■納入方法の変更について

平成31年度分より会費納入方法の変更をする場合は、早急に県協会までご連絡ください。また、現在の納入方法から口座振替に変更される方は手続きまでは1か月以上かかりますので、余裕をもって手続きください。

■キャリアースについて

研修受講履歴の管理ができるようになりました。会員情報の確認・変更もできますので、ぜひご登録ください。その他ご不明点等ございましたら、下記問合せまでご連絡をお願いいたします。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

訪問看護入門研修

訪問看護に興味のある看護職を対象に、講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。

①日程／10月23日(火)・24日(水)

締切／9月20日(木) 必着

会場／県ナースセンター研修室

②日程／11月13日(火)・14日(水)

締切／10月11日(木) 必着

会場／県ナースセンター研修室

実習地域／県内の訪問看護ステーション

定員／各回30名

受講料／無料

重度重複障がい児者研修

日程／12月15日(土)

会場／県ナースセンター研修室

対象／重症心身障がい児者の看護に携わる看護職、
現在未就業で県内での就業を希望する看護職

受講料／無料

締切／11月下旬

問合せ／地域看護課 ☎045-263-2933

編集後記

今月号では、会員施設で行っている新たな取り組みや、メディア等で取り上げられ、話題になっている健康に関する記事を掲載しました。これからも、みなさんの手元に置いていただき、生活や仕事に役立てる冊子をお届けできるよう活動していきたいと思ひます。(M.S)